

合作 株式会社

鹿児島県曽於郡大崎町假宿1772-6 グリーンヒル大崎1号館 202号室

設 立 2020年

資 本 金 310万円

従 業 員 数 17名



合作 株式会社
企業 HP



事業内容

合作株式会社は、「資源リサイクル率日本一」を16回も達成した大崎町で、企業と自治体をつなぎ、企画のデザイン、環境や町に寄り添った事業の開発などを行う会社です。

●学生サポーター的魅力ポイント● 大崎町でSDGsの最先端

大崎町は28品目に及ぶ徹底したごみ分別に取り組み、資源リサイクル率日本一を誇る「環境先進地」として世界から注目を集めています。この実績を活かし、町全体でSDGsの推進に精力的に取り組んでいます。その大崎町で合作は全国から集まった多種多様な経験を持つ仲間たちが、熱意をもって業務を行っています。



入社2年目
高橋 知成さん

大崎町で働くきっかけ

●町で働いている人の熱量を感じた

高橋さんは合作で大学在学中から働き始めました。インターンシップを通して地元に想いを持って働く、熱量感のある人が多いと感じたそうです。

仕事のやりがい

活動を通じて、地域の人々と仕事の枠を超えた関係を築けた瞬間に、「地域のひとり」として受け入れられたことを実感し、大きなやりがいを感じていると話します。

主な仕事内容

大崎町の資源循環の取り組みを視察に訪れる方の対応と、大崎町や大隅半島全体を盛り上げる企画やイベントの運営を担当されているそうです。

日々の原動力

地域の人々が「楽しい」と思えることを常に考え、仕事やプライベートの時間を過ごすことが、地域貢献へとつながる自身の原動力になっているそうです。





代表取締役
齊藤 智彦さん

会社設立から6年目

大崎町は、これまで「資源リサイクル率日本一」を16回も達成するなど、環境の面でとても注目されています。その大崎町を舞台に、これからの環境モデルになるような新しい技術の開発や、開発した技術の普及が、会社の主な業務です。

主な仕事内容

自治体と企業をつなぐコーディネートの仕事が中心だそうです。自治体と企業では、それぞれの組織ごとに独自の「文化」があるため、組織間の橋渡し役となり、これからの社会に役立つ仕組みづくりに挑戦していると話していました。

大崎町で暮らしてみても

大崎町の人たちと同じように細かいごみの分別をすることは、最初はすごく大変だと思っていたそうです。大崎町で生活をしていく中で、ごみの焼却処理を行う他の自治体と比べて大崎町の方が便利な点、逆に他の自治体と比べて不便な点など色々な気付きがあったそうです。

今後の展望

大隅エリアでは選べる仕事が少ないため、U・Iターン移住をしたくても、仕事がないという声をよく聞くそうです。そこで、合作が未来につながる仕事をつくることで、移住者や地元の方の就業の選択肢を広げたい。やりがいをもって働く人が増えれば、齊藤さん自身のモチベーションにもつながると話していました。



学生へのコメント

合作は「まちをもっとおもしろくする」ことを本気で考えるチームです。住民をはじめ、企業、行政などの「地域を大切に思う」様々な人たちと共に、新しい仕組みや場をつくっています。「やってみたい気持ち」を大事にする会社です。正解がない時代に、自分らしい挑戦をしたい人、ぜひ一緒に未来をデザインしましょう！

合作 採用担当者 小野寺 真子さん



取材後の感想



長野 比呂さん

未来につながる地域づくりを、大崎町の人々に寄り添いながら発信している会社だと感じました。リサイクルする資源の関係だけではなく、住民との関係を大切にしていることが印象的でした。



中村 和奈さん

大崎町での循環型社会の実現に向けた取り組みのほか、地域おこし事業の実施など、地域や企業をつなぐ魅力的な会社でした。多様な経験を持つ方々が集まっているということも興味深かったです。

